

※一部非公開

令和五年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

## 小論文

人文社会学部 国際法政学科

### 注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

## 問題

次の課題文を読んで、問一と問二に答えなさい。

問一 「ナショナリズム」、「核兵器」、「グローバル化」には、どのような関係性があると、課題文の著者は考えていますか。四〇〇字以内で説明しなさい。

問二 ナショナリズムについて、あなた自身はどのように考えますか。課題文の主張も踏まえながら、六〇〇字以上八〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

非公開

非公開

（ユヴァル・ノア・ハラリ著、柴田裕之訳『21 Lessons  
21世紀の人類のための21の思考』、河出書房新社、二〇二一年、一  
八五）一九一ページ、抜粋・一部改変）

令和五年度入学試験問題（学校推薦型選抜Ⅱ）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる、現代社会が抱える課題に対する関心・知識、理解力、分析力、他者への説明能力をどの程度持っているかを見ることである。

問一は、課題文の含意を踏まえて、「ナシヨナリズム」、「核兵器」、「グローバル化」、それぞれの関係性について、分析的に抽出できるかどうかを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているかを問う出題である。

問二は、本文の内容を踏まえた上で、自分自身の考えを説得的に説明することを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に学ぶ意欲を有しているかを問う出題となっている。